



高校生の活躍が光る

町制施行130年記念ロゴマーク発表会と 笠松駅イルミネーション企画発表会

10月24日、岐阜工業高等学校デザイン工学科による「町制施行130年記念ロゴマーク発表会」が行われました。笠松町が今年7月に町制施行130年を迎えたことを受け、デザイン工学科2年生の皆さんが夏休みの課題制作としてシンボルとなるロゴマークの考案に取り組み、町関係者の選考を経て、木村 舞さん考案のデザインに決定しました。木村さんは、「笠松町の優しいイメージを曲線で活かし、町名の頭文字であるKをトンボの形に見立て、さらに親子が寄り添っている様子を表現しました」と、コンセプトを説明しました。今回、考案いただいたロゴマークは、広報紙をはじめ、町発行物などに掲載し、町制施行130年のPRに活用させていただきます。



ロゴ考案者の木村さん

また、同校電子科による「名鉄笠松駅イルミネーション2018企画発表会」も行われ、冬の風物詩となった名鉄笠松駅イルミネーションのデザイン案が発表されました。会場には、今年度から電子科の皆さんと一緒に企画に取り組んできた町子ども会のインリーダー生も多数集まり、高校生の発表を熱心に聞いていました。今年のイルミネーションのテーマは「笠松130周年祭～人々をつなぐ光～」で、ねぶた風の立体的なデザインで駅舎を彩りますので、ぜひご覧ください。

【点灯期間】12月18日 午後4時30分（点灯式）～2月21日



イルミネーション企画発表会の様子



熱心に発表を聞くインリーダー生

地域の安全を守る



積土のう工法を実践する門間水防団

第12回水防工法競技大会

10月28日、木曽川右岸地帯水防事務組合（管理者広江正明 笠松町長）主催の第12回水防工法競技大会が笠松競馬場西駐車場で開催されました。

この大会は、水防団員の士気高揚、洪水時の作業向上、万全な水防体制の確立を図るとともに、地域住民の水防に対する理解と協力を得ることを目的に行われました。笠松町をはじめ、岐南町・岐阜市・各務原市の15水防団が参加し、積土のう工法には8団が、月の輪工法には7団が日ごろの訓練の成果を競いました。

当町関係水防団の成績は次のとおりです。

積土のう工法の部 準優勝 門間水防団